

第6章 江川南遺跡第24地点の調査

I 遺跡の立地と環境

江川南遺跡は、入間川支流の新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。

遺跡の標高は20～21mで、現谷底との比高差は1～2mを測る。福岡江川北側の左岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。主要道路が交叉し、東武東上線福岡駅から約1kmという立地条件のため、昭和40年代には個人住宅や工場などの急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の北西側対岸に縄文時代中期前葉の単一集落である亀居遺跡が位置し、同じく北

本遺跡は当初、地蔵院遺跡と江川南遺跡とに分かれていたが、平成5年に遺跡の変更増補を行ない、江川南遺跡に統一した。なお、1985年に調査した地蔵院遺

跡第1地点は江川南遺跡第6地点に名称を変更した。

また平成9年には亀久保堀跡遺跡と本遺跡を分けた。

本遺跡では旧石器時代の石器集中・礫群、縄文時代中期の住居跡・土坑等、古代～中世の堀跡、地蔵院に関わる近世の遺構群等、遺跡の時期は多岐にわたる。

2011年12月現在、24地点で試掘調査及び発掘調査が行なわれている。北側に鶴ヶ舞遺跡が位置する。東側約150mには、平安時代の遺物を出土する江川東遺跡と、同じく東側約50mに東久保遺跡が位置する。

II 本調査に至る経過と調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年10月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構等の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年12月4日から10日まで行なった。



第31図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

幅2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査行なった結果、堀跡の続きを確認した。さらに1m四方の小トレンチ4ヶ所と1×2mの小トレンチ1ヶ所を掘り下げ確認したところ、旧石器時代の遺物を検出した。

遺跡確認面までの深さは約30～40cmで、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年12月14日から28日まで行ない、亀久保堀跡の続きと、旧石器時代の礫群と石器集中を検出した。

Ⅲ 遺構と遺物

①集石土坑

調査区の北西部で集石土坑1基を検出した。覆土層の観察から縄文時代の時期とみられる。出土礫の詳細は第13表のとおりである。

②堀跡

全長800m以上にわたって確認されている堀跡の北端の一部を検出した。

断面形は、これまで確認されているものと同じ逆台形の箱葉研状である。底部には構築時の掘り方とみられる楕円形状の凹凸が残る。検出部の規模は上幅232～260cm、下幅120～183cm、深さ79.3cmで北に傾斜する。

③旧石器時代の遺構と遺物

石器集中と礫群は立川ローム層第Ⅳ層より検出した。石器集中1・礫群1を中心に小規模に密集する礫群2・3・4が位置する。石器集中1は礫群1の東側にやや密集し南側に広がるが、礫と石器の分布域を明確に分けられないため、石器の分布を石器集中1、礫の分布を礫群1とした。石器集中と礫群の垂直分布は標高20.0～20.4mに分布する。石器集中1と礫群2から、チャートの石核・剥片が4点出土する以外は石器の石材は黒曜石主体である。礫群のほとんどは砂岩である。

遺構の規模と出土遺物、礫の詳細は第13表、第14表のとおりである。

④その他（遺構外出土）の遺物

10は波状口縁で金雲母を含む。11は隆帯脇にキャタピラ文とペン先状工具の三角押文・沈線文。12は口縁部無文帯にRL縄文。13は隆帯脇に沈線とペン先状工具の三角押文・キャタピラ文・蓮華文。14は刻目隆帯脇に爪形文と波状沈線文。15は刻目隆帯に半隆帯の沈線文と爪形文にRL縄文。17は微隆帯にRL縄文、18は沈線に幅広摩消とLR縄文、19は沈線文、20はRL縄文、21は底部、22は台付の底部で穿孔がみられる。10は阿玉台系、11～16・22は勝坂Ⅱ～Ⅲ、17～19は曾利EⅢ～Ⅳ。石器の詳細は第14表のとおりである。

第13表 江川南遺跡第24地点集石土坑・礫群・石器集中出土礫観察表

(単位cm・g・%)

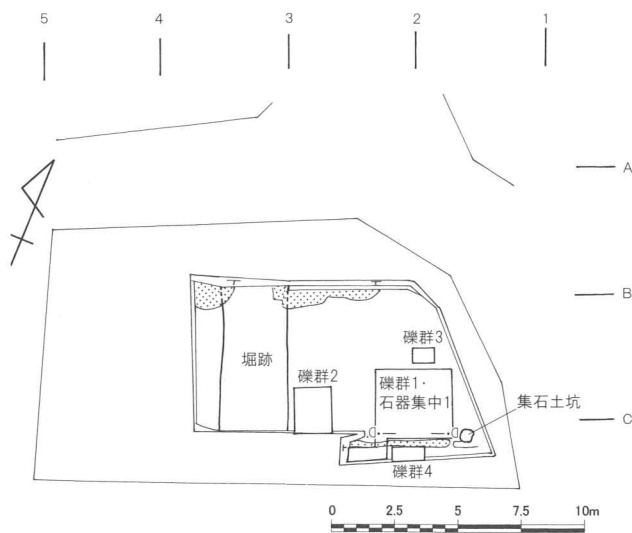
遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	礫範囲	総点数	総重量	平均重量	破損個数	完形個数	焼成個数	タール・煤付着数	未焼成・タール・煤未付着数
集石土坑1	不整形	44×39	21×11	15.5	11×6	4	226.7	56.68	4(100)	0	0	0	4(100)
礫群1	円形	—	—	33.9	125×125	105	14,973.45	142.60	88(83.80)	8(7.62)	38(36.19)	49(46.66)	45(42.85)
礫群2	不整形	—	—	28.3	165×126	36	3,339.50	92.76	33(91.66)	3(8.30)	14(38.88)	11(30.55)	15(41.66)
礫群3	不整形	—	—	4.7	45×16	14	1,803.40	128.81	13(92.85)	1(7.15)	2(14.28)	7(50.00)	8(57.14)
礫群4	不整形	—	—	10.1	53×15	14	824.30	58.87	13(92.85)	1(7.15)	3(21.42)	2(14.28)	9(64.28)
石器集中1	「U」字形	—	—	28.5	2.25×75	58	23.79	0.41	—	—	—	—	—

※石器集中1の数値は剥片(細部調整剥片含む)・碎片、石器(ナイフ・石核・錐)のデータである。

第14表 江川南遺跡第24地点出土石器計測表

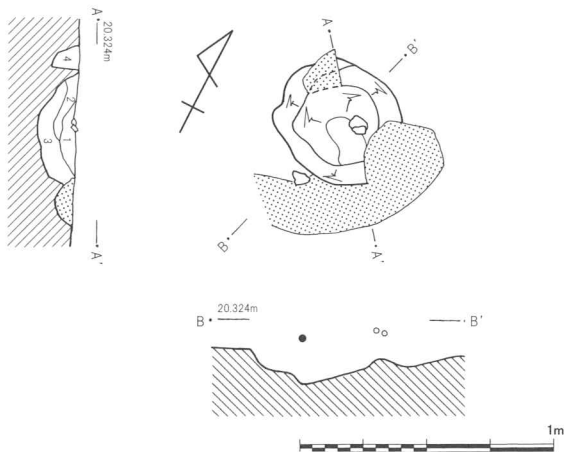
(単位cm・g)

図版番号	No.	出土遺構名	種別・型式	長さ	幅	厚さ	重量	石材	技法・文様・その他	推定年代	残存・備考
第34図	1	表土一括	石器/ナイフ形石器	3.3	1.3	0.7	3.09	安山岩	原礫面残す石刃素材、二側縁調整/灰色/注記No表土一括	旧石器時代	完形
	2	礫群1・石器集中1	石器/ナイフ形石器	1.9	1.4	0.7	1.52	黒曜石	両側縁調整/注記No76	旧石器時代	1/2
	3	礫群1・石器集中1	石器/錐	2.6	1.5	0.7	2.65	黒曜石	側縁調整、末端部にノッチ加工、ドリル?注記/No112	旧石器時代	完形
	4	礫群1・石器集中1	石器/細部調整剥片	2.2	1.2	0.7	0.89	黒曜石	基部凹型にノッチ加工/注記No110	旧石器時代	
	5	堀覆土	石器/細部調整剥片	2.4	1.3	0.6	1.21	黒曜石	側縁にノッチ加工/注記No堀内2トレンチ	旧石器時代	
	6	表土一括	石器/細部調整剥片	1.5	1.1	0.6	0.54	黒曜石	側縁にノッチ加工/注記No表土一括	旧石器時代	
	7	礫群2	石器/横長剥片	2.0	4.3	0.5	3.54	チャート	基部端に微細な細部調整/注記No179	旧石器時代	
	8	礫群1・石器集中1	石器/石核	3.6	1.9	1.3	6.39	チャート	石核と考えられるが、角錐状石器・ナイフ形石器未製品の可能性有り。No7横長剥片と石材類似/注記No170	旧石器時代	
	9	堀覆土	石器/石核	3.2	4.3	3.2	28.21	黒曜石	原礫面残す/注記No堀1トレンチ内カクラン	旧石器時代	
	23	堀覆土	石器/敲石・磨石	4.4	7.0	1.5	56.53	安山岩	注記No堀一括	縄文時代	側縁一部
	24	堀覆土	石器/打製石斧	6.6	4.2	1.9	55.41	細粒砂岩	注記No堀内2トレー一括	縄文時代	刃部欠損



※ DD'は第33図土層のDD'に対応。

集石土坑



集石土坑

1. 黒色土 締り有、粘性有、灰色味のある暗褐色土を斑状に少し含む、4cm 大礫・ロームブロック・2mm以下ローム粒・焼土少し含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、1層より灰色味があり色調明るい、1mm以下ローム粒・焼土少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土を斑状に多く、1～5cmハードロームブロックやや多く、2mm以下炭化物少し含む
4. 暗褐色土 締り有、粘性有、ベースは3層と同じ土質でローム主体、うすうす斑状に黒褐色土含む
4層は集石1とは別の凹み

堀跡

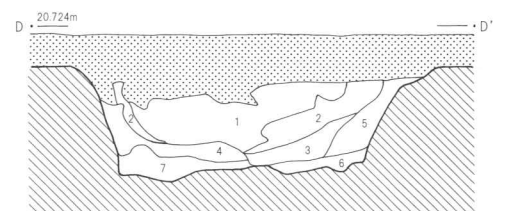
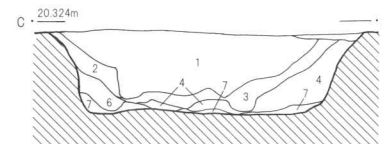
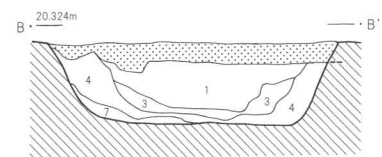
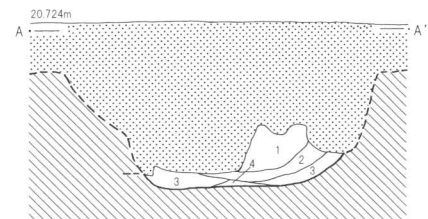
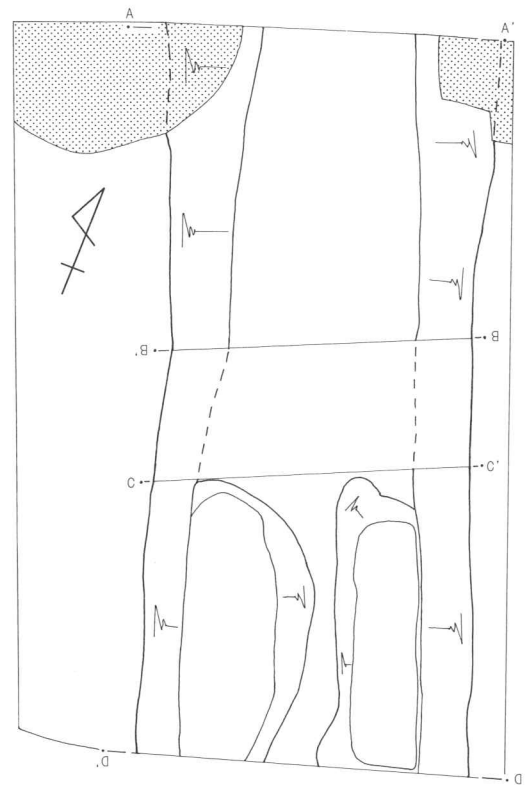
A-A'

1. 黒褐色土 締り弱、サラサラした
2. 茶褐色土 ローム粒を含む、斑状に黒褐色土少し含む
3. 暗褐色土 締り強、1cm以下ロームブロック・粒を含む、黒褐色土は含まない
4. 暗褐色土 締り強、ほぼソフト質のローム土で占められる

B-B'～D-D'

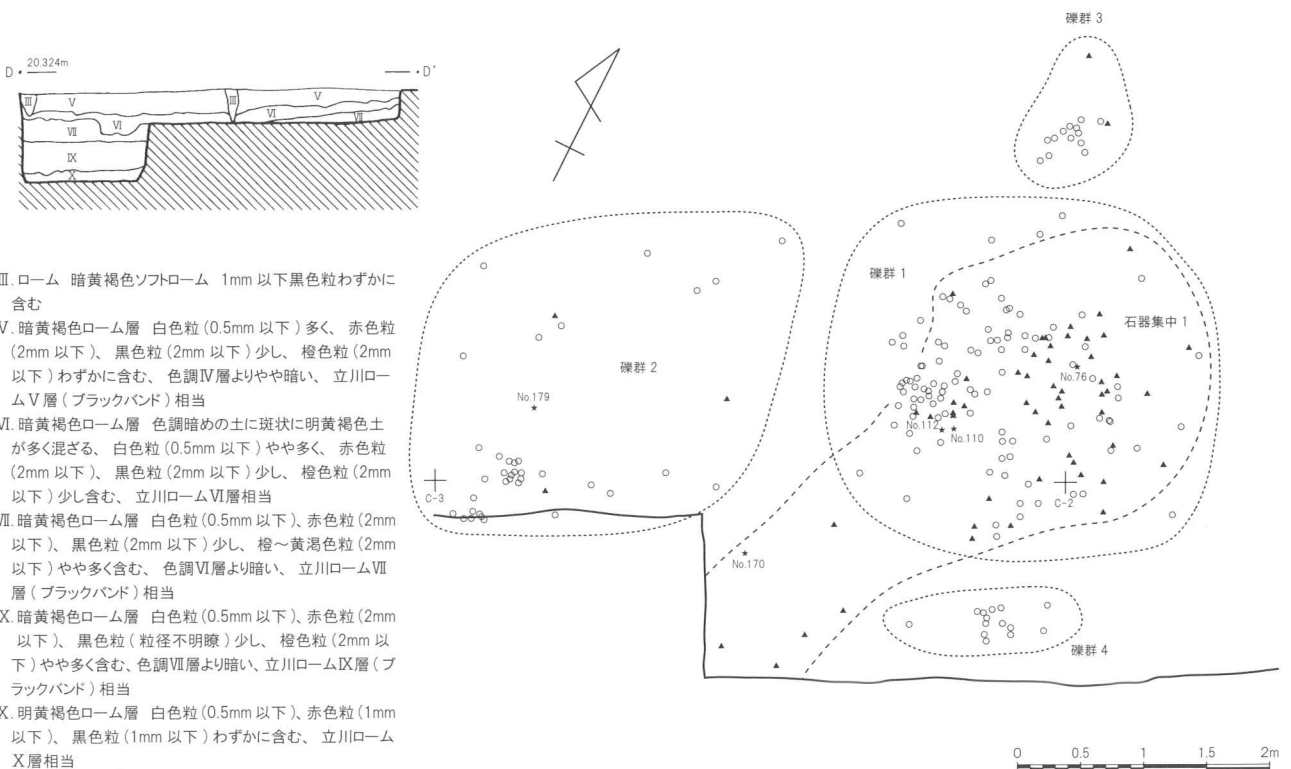
1. 黒褐色土 粘性有、1mm以下ローム粒少し、同炭化物極少し含む、1～4層に旧石器礫、縄文土器片多く含む
2. 黒褐色土 粘性有、1層より明るい、ローム粒1層より少ない、炭化物含まない
3. 黒褐色土 粘性有、2層より暗い黒褐色土と暗褐色土を斑状に含み、1mm以下ローム粒少し含む
4. 暗褐色土 粘性有、1・2層より明るい、暗褐色土と黒褐色土を斑状に含み、1mm以下ローム粒1・2層より多く含む
5. 褐色土 粘性有、ほぼローム崩落土で、シミ状に黒褐色土少し含む
6. 暗褐色土 粘性有、締り強、5cm以下ロームブロック多く、黒褐色土やや多く含む
7. 暗褐色土 粘性有、締り強、7cm以下ロームブロック多く含む

堀跡



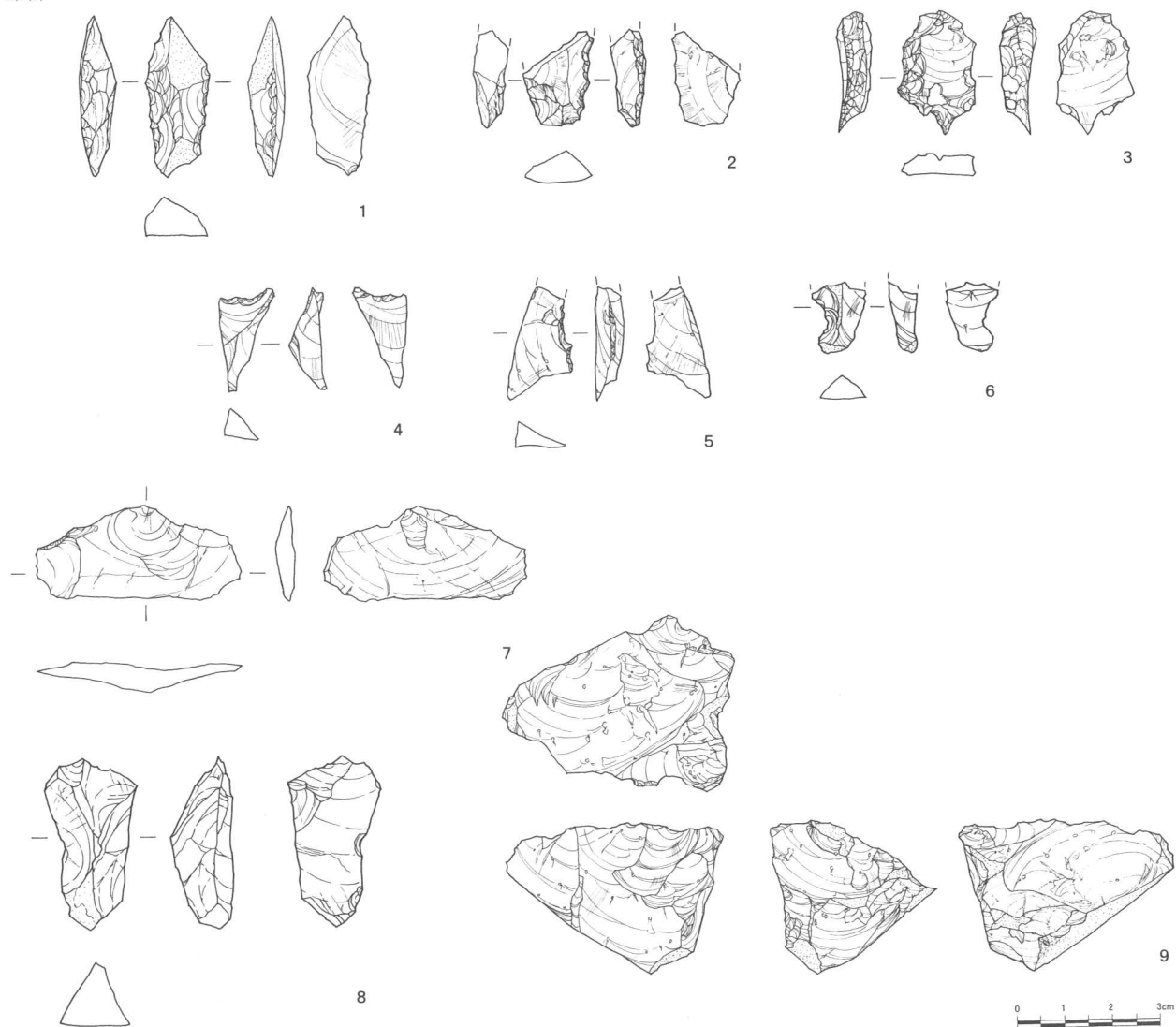
0 0.5 1 1.5 2m

第32図 江川南遺跡第24地点遺構配置図 (1/300)、集石土坑 (1/30)、堀跡 (1/60)

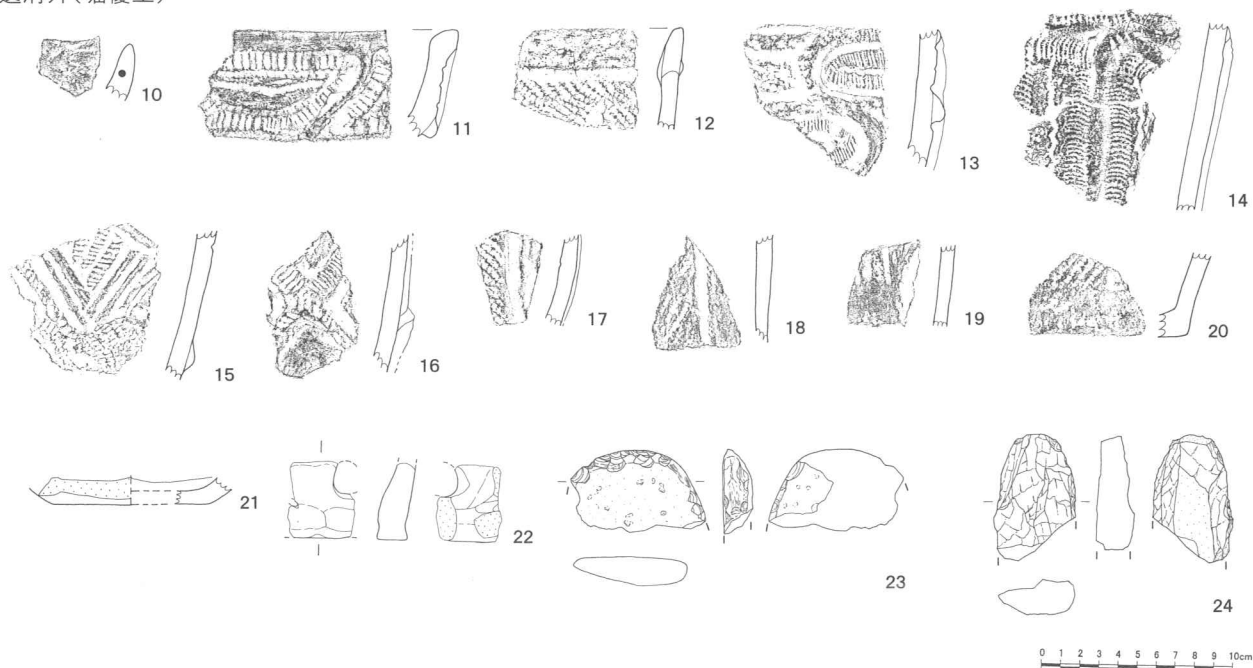


第33図 江川南遺跡第24地点旧石器出土状況図 (1/60)

礫群



遺溝外(堀覆土)



第34図 江川南遺跡第24地点出土旧石器・縄文土器・石器 (1/4・2/3)

江川南遺跡第 24 地点 (1)



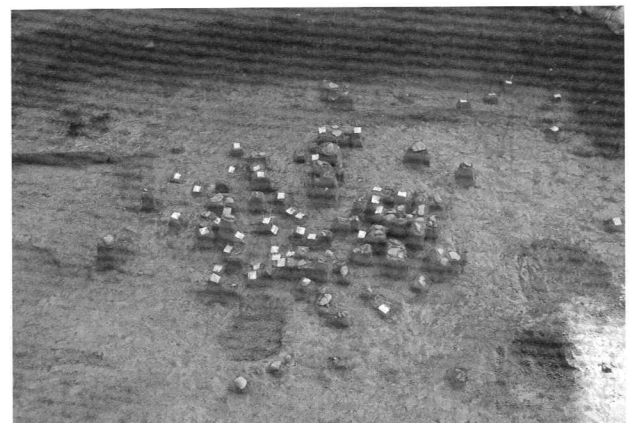
江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (西から)



江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (東から)



江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (北から)



江川南遺跡第 24 地点旧石器出土状況 (北から)



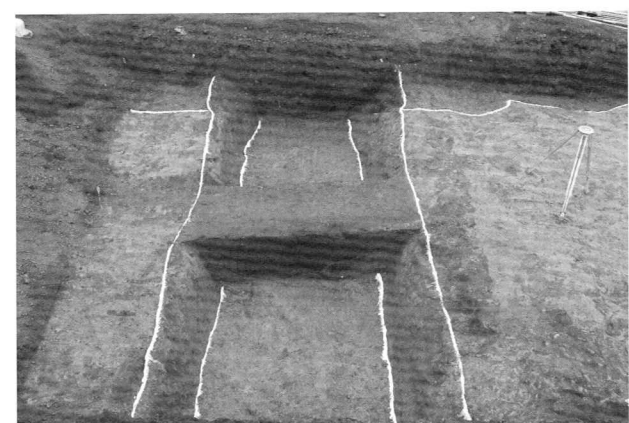
江川南遺跡第 24 地点調査区近景 (西から)



江川南遺跡第 24 地点土層

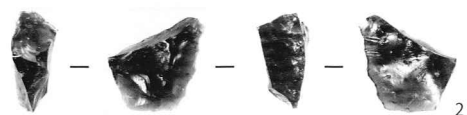
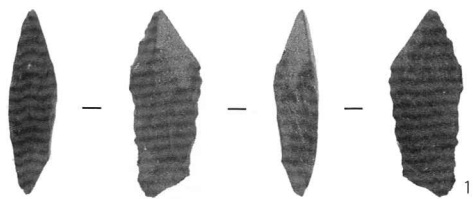


江川南遺跡第 24 地点集石土坑

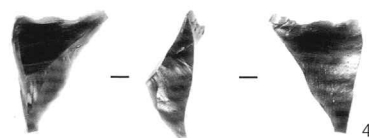
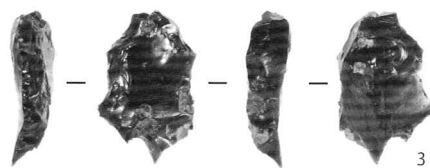


江川南遺跡第 24 地点堀跡

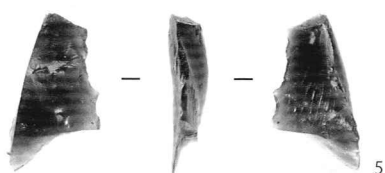
江川南遺跡第 24 地点 (2)



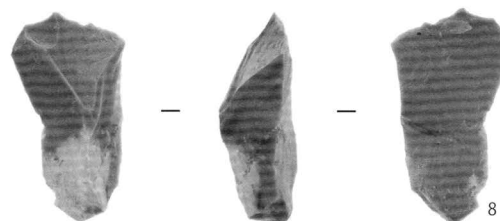
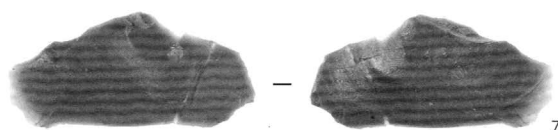
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.1・2



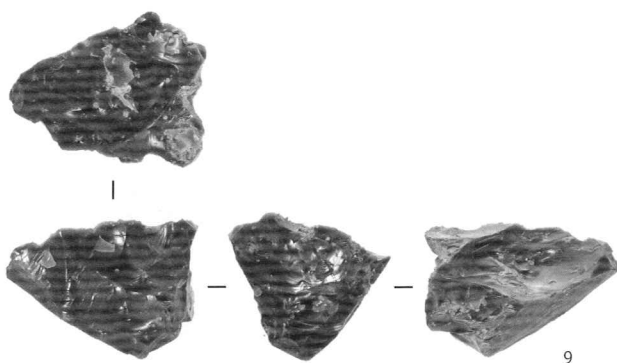
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.3・4



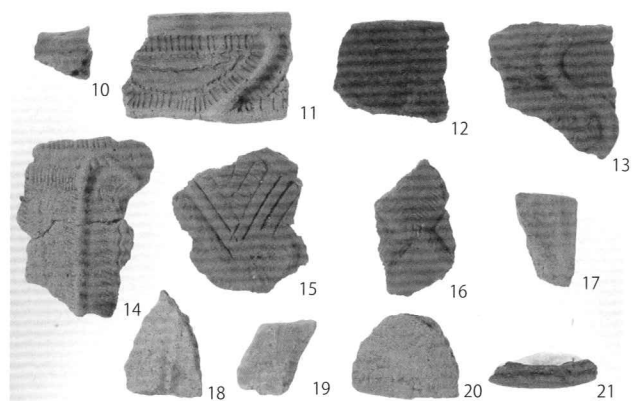
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.5・6



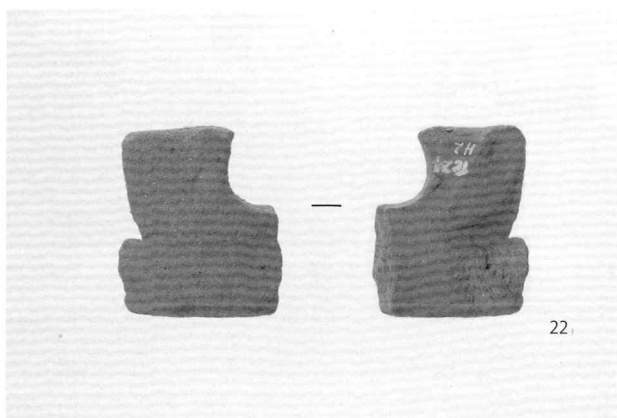
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.7・8



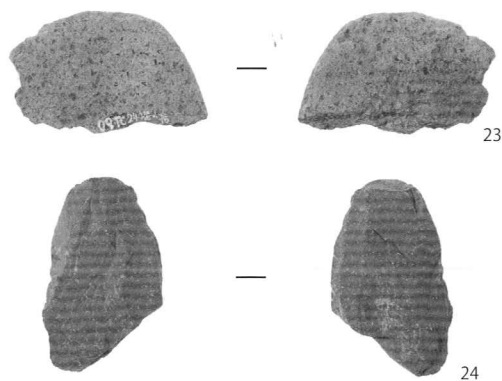
江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.9



江川南遺跡第 24 地点出土土器 No.10 ~ 21



江川南遺跡第 24 地点出土土器 No.22



江川南遺跡第 24 地点出土石器 No.23・24